

聖句 旧約聖書 P1006 箴言 12 章 18 節

「軽率な一言が剣のようにさすこともある。知恵ある人の舌は癒す。」

私が大好きな映画のハリーポッターの言葉の中に「言葉というのは尽きることのない魔法の源だ。人を傷つけもすれば癒しもする力がある」という言葉があります。ハリーポッターは何度も見ている映画ですが、少し前にまた見直した時にこの言葉が私の心に響いたのは、3年生になって部活で同じような体験をしたことがあるからだと思います。

私は吹奏楽部に所属しています。中高一貫の部活なので高校生とも活動をしていて、高校生の先輩から指示やアドバイスをもらう機会が沢山あります。私の演奏する楽器のパートでは高校生の先輩が4月に引退し、今はいません。その引退した高3の先輩とは私が中一、中二の2年間一緒に活動してきました。私が一年生の頃は入ったばかりで、楽器のことや部活のことをなんにも知らない私にたくさんのことを教えていただき、私が2年生になると2人でコンクールに出たりもしてきました。私が吹けないところは私の分まで吹いてくださったり、できない所は何度も何度も自分の練習時間やお昼の時間を削ってでも教えてくださったりして、私の憧れる存在でした。でも何度教えて貰っても吹けない自分が嫌で、悔しくて、そして毎日毎日あるつらい部活に辞めたいなって思う時もありました。けどそんな時、その先輩にたくさんの言葉をかけてもらったり先輩自身の体験を通して色んなことを教わったりしたおかげで、今はとつてもたのしく部活動が続けることができています。

私の憧れである先輩が今年の4月に引退した時、私は1枚の手紙を貰いました。その手紙にはパートを引き継ぐ私に向けてたくさんのメッセージが書かれてしまいましたが、1番心に残った言葉があります。それは「何がなんでも絶対自分に負けないで。」という言葉です。何度もやめたいって思ったり、辛いなって思って自分に負けそうになっていた私に先輩から頂いた大切な言葉です。その先輩との部活での経験のおかげで今の私があります。その時私は、自分自身の体験を通して言葉の力というものを感じました。

でも、自分が言った余計な一言で大切な友達を傷つけてしまったこともあります。そのまま喧嘩になって、1ヶ月話さないこともありました。その友達とは今はとても仲良く過ごしていますが、言ったあとで自分の言葉に後悔することも沢山ありました。私はその時、自分の大切な友達を自分の言葉で傷つけてしまったんだと思います。

3年生になって色々な体験を通して、言葉の持つパワーは人を勇気づけ人を救うことができるのだな、と気づきました。でも時に人を傷つけることもあります。自分だったら言われたら嫌だな、と思うのに人には言ってしまうこと。何気ない一言で傷つけてしまうこともあるかもしれません。だから、きっと言葉の可能性は無限大なんじゃないかと思います。みなさんも日々の学校生活や家庭で発する言葉のひとつひとつに想いを込めて相手に伝えてみてください。もしかすると、その相手にとって人からもらった言葉は時にかけがえのない“魔法”になるのだと私は信じています。